



広島交響楽団

第25回呉定期演奏会

2015. **7.19** (日)

14:30開演 (14:00開場)

呉市文化ホール

呉市中央3丁目10-1

ピアノ: 松田 華音
Piano Kanon Matsuda

儂くも美しく
抱きしめては消えゆくメロディー

© Ayako Yamamoto

チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調Op.23
Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 in B-flat minor Op.23

ラフマニノフ 交響曲第2番 ホ短調Op.27
Rachmaninov: Symphony No.2 in E minor Op.27

全席指定(税込) / S席3,700円 A席3,200円 B席2,700円

学生席1,000円(当日要学生証)

チケット発売日 / くれフレンドリー 4月18日(土)、一般 4月25日(土)

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※学生席はS・A・B席いずれもご購入いただけます。

※学生席は公演当日、学生証をご提示ください。

※学生席の販売は、呉市文化ホール、広響事務局、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケットのみの販売となります。

主催 / 公益財団法人呉市文化振興財団、呉市、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

特別協賛 / 中国電力株式会社

〈プレイガイド〉

呉市文化ホール、公声堂、イオン広店、中国新聞社呉支社、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、ローソンチケット(Lコード67641)、チケットぴあ(Pコード259-231)、セブンチケット(<http://7ticket.jp/>)、広響事務局

指揮: 円光寺 雅彦
Conductor Masahiko Enkoji

© 三浦興一

広島交響楽団 第25回呉定期演奏会



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
~平和と希望への祈り~

儂くも美しく 抱きしめては消えゆくメロディー

チャイコフスキーとラフマニノフ、人気の高いロシアふたりの巨頭による作品は、切なく愛しいメロディーに溢れています。

呉にゆかりの円光寺、ロシアで研鑽を積み、ドイツ・グラモフォンとの契約で注目を集める松田の共演にご期待ください。



©三浦興一

指揮: 円光寺 雅彦 *Conductor Masahiko Enkoji*

1954年東京生まれ。桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄、ピアノを井口愛子の各氏に師事。

1980年、ウィーン国立音楽大学に留学し、オトマル・スウィトナーに師事する。

1981年9月帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団副指揮者に就任。1986年より同交響楽団指揮者となり、1991年3月までその任を務める。

1989年より1999年3月まで、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者として活躍。オーケストラの飛躍的な発展に貢献し、その実績は高く評価されている。東京特別公演のライブをはじめ、円光寺・仙台フィルの演奏は多数CD化されており、その演奏からもオーケストラと指揮者の密接な関係を窺う事が出来る。

1998年5月より2001年4月まで札幌交響楽団正指揮者を務める。2000年3月には、東京公演(サントリーホール)を指揮し好評を博し、札幌交響楽団と円光寺の取り組みは高く評価された。

他に、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団をはじめ、日本の各オーケストラに客演し、着実に活動範囲を広げている。

海外でも、1992年、スメタナホールにて、プラハ交響楽団の定期演奏会に客演したのをはじめ、1994年には、BBCウェールズ交響楽団、1995年にはドミトリー・キタエンコからの招きにより、ノルウェーのベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、それぞれの地で、その深い音楽性と適確な指揮で、多くの聴衆を魅了した。また、NHK「名曲アルバム」や「おーいニッポン」「あなたが主役～音楽のある街で」「あなたの街で夢コンサート」等の番組にも定期的に出演などその活動は幅広く、国際的指揮者として現在最も期待されている。名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者、桐朋学園大学院大学特別招聘教授。

ピアノ: 松田 華音 *Piano Kanon Matsuda*

1996年、香川県高松市生まれ。4歳で細田淑子に師事、ピアノをはじめめる。

2002年秋、6歳でモスクワに渡りエレナ・ペトローヴナ・イワノワに師事、翌年ロシア最高峰の名門音楽学校、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校ピアノ科に第一位で入学。

2004年、エドワード・グリーグ国際ピアノ・コンクール、グランプリ受賞。2006年、TVロシア文化チャンネル主催、くるみ割り人形国際音楽コンクール、ピアノ部門第一位受賞。

2009年、AADGT 国際Young Musician Competition (ニューヨーク)第一位受賞。2010年、才能ある青少年の国際コンクール&フェスティバル「クラシカ2010」グランプリ受賞(カザフスタン)。2011年12月、国立アレクサンドル・スクリャービン記念博物館より2011年度の「スクリャービン奨学生」に選ばれる。

2013年2月、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。翌年同校を首席で卒業。(ロシアで成績優秀者に贈られる「赤の卒業証書」で卒業。)9月、モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学。

11月ドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。

オーケストラとの初共演は8歳。これまでにミハイル・プレトニョフ、マルク・ゴレンシュタイン、高関健などの指揮者、ロシア・ナショナル管弦楽団、ロシア国立交響楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団などと共演。



©Ayako Yamamoto



オーケストラ: 広島交響楽団 *Hiroshima Symphony Orchestra*

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ(広響)は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、ルーアン、ル・アーブル、サンクトペテルブルク、ソウル、プサン、テグなどで公演し好評を博す。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを開催。他に、文化庁からの指定を受け全国各地を巡回する学校公演や、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含む年間約140回に及ぶ公演を行っている。2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍が期待される。2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、各種ワークショップ、講義、楽器教室やセミナーのほか、全国から注目を集める「P3 HIROSHIMA」として広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

オフィシャルホームページ <http://hirokyo.or.jp>